



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 NITTOH

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,725	6.8	298	17.0	312	16.0	181	40.3
24年3月期第3四半期	4,424	0.9	255	17.4	269	19.8	129	2.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 180百万円 (33.1%) 24年3月期第3四半期 135百万円 (12.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	89.44	—
24年3月期第3四半期	63.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,468	2,095	60.3
24年3月期	3,233	1,946	60.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,091百万円 24年3月期 1,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,995	4.7	283	11.5	284	4.0	142	13.8	70.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	2,030,180 株	24年3月期	2,030,180 株
25年3月期3Q	1,973 株	24年3月期	1,973 株
25年3月期3Q	2,028,207 株	24年3月期3Q	2,028,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要に下支えされ、緩やかな回復への兆しが見られましたが、円高や世界経済の減速傾向を背景とした輸出などの低迷、依然として根強い欧州をはじめとする海外景気の不確実性への不安が国内景気を下押しするリスクが残る先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、住宅ローンの金利優遇政策や復興支援・住宅エコポイント、太陽光発電設備などを中心とした省エネ、創エネ商品に対する補助金などの政策の効果により、継続して、需要を維持いたしました。しかし、一方では、雇用・所得環境への不安は依然として残っており、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業におきましては、震災以降、省エネや創エネ意識の高まりから、高効率給湯器をはじめとする省エネ・創エネ対応設備への取換リフォーム、さらに根強いリフォーム需要に加えて、防災・耐震意識の高まりから、耐震補強リフォームも含めた既設住宅向けのリフォーム受注件数が増加したことにより、業績が伸びました。

住宅等サービス事業におきましては、新規のシロアリ駆除依頼件数が減少傾向にあるものの、既設住宅向けのシロアリ再予防工事や床下環境改善の防湿商品の販売強化などの活動を継続して実施したことにより、業績を確保いたしました。

ビルメンテナンス事業におきましては、依然として作業回数の削減や請負単価の低価格化への見直し要請があり、業績確保は厳しい状況となりました。しかし、新規取引先開拓を継続しており、社員教育の徹底、高品質のサービス提供を推進して他社との差別化を図るなどの諸施策を実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,725百万円(前年同四半期比6.8%増)、営業利益は298百万円(前年同四半期比17.0%増)、経常利益は312百万円(前年同四半期比16.0%増)、四半期純利益は181百万円(前年同四半期比40.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて235百万円増加し、3,468百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加158百万円、売掛債権の増加114百万円があったものの、たな卸資産の減少32百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、1,373百万円となりました。主な増減は、仕入債務の増加122百万円、退職給付引当金の増加24百万円があったものの、賞与引当金の減少33百万円、未払法人税等の減少24百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し、2,095百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加150百万円があったものの、少数株主持分の減少1百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、平成24年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	959,811	1,118,041
受取手形及び売掛金	697,094	811,884
たな卸資産	342,176	310,076
その他	109,498	115,073
貸倒引当金	△7,031	△5,650
流動資産合計	2,101,548	2,349,425
固定資産		
有形固定資産		
土地	563,586	563,586
その他(純額)	308,104	298,861
有形固定資産合計	871,691	862,448
無形固定資産		
のれん	25,083	16,406
その他	9,387	11,805
無形固定資産合計	34,470	28,212
投資その他の資産	229,985	233,843
貸倒引当金	△4,378	△5,028
固定資産合計	1,131,769	1,119,475
資産合計	3,233,318	3,468,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,364	548,590
短期借入金	85,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	10,080	10,080
未払法人税等	79,322	54,641
賞与引当金	73,240	39,424
完成工事補償引当金	17,300	15,700
その他	205,724	227,133
流動負債合計	897,031	960,569
固定負債		
長期借入金	12,360	5,640
退職給付引当金	204,977	229,217
長期未払金	24,840	24,840
その他	147,987	152,998
固定負債合計	390,164	412,695
負債合計	1,287,195	1,373,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	1,596,037	1,747,020
自己株式	△623	△623
株主資本合計	1,927,299	2,078,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,150	12,991
その他の包括利益累計額合計	13,150	12,991
少数株主持分	5,673	4,361
純資産合計	1,946,122	2,095,635
負債純資産合計	3,233,318	3,468,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,424,202	4,725,878
売上原価	3,142,686	3,353,265
売上総利益	1,281,516	1,372,612
販売費及び一般管理費	1,026,328	1,074,025
営業利益	255,187	298,587
営業外収益		
受取利息	150	113
受取配当金	1,005	1,184
受取手数料	984	2,282
受取保険金	6,122	7,868
その他	8,050	3,949
営業外収益合計	16,313	15,398
営業外費用		
支払利息	1,415	725
その他	412	340
営業外費用合計	1,828	1,065
経常利益	269,672	312,919
税金等調整前四半期純利益	269,672	312,919
法人税、住民税及び事業税	111,199	124,440
法人税等調整額	24,915	8,218
法人税等合計	136,115	132,658
少数株主損益調整前四半期純利益	133,557	180,260
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,272	△1,145
四半期純利益	129,285	181,405

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133,557	180,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,774	△158
その他の包括利益合計	1,774	△158
四半期包括利益	135,332	180,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,060	181,247
少数株主に係る四半期包括利益	4,272	△1,145

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,516,215	743,721	1,164,265	4,424,202	—	4,424,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,725	1,398	730	3,853	△3,853	—
計	2,517,940	745,120	1,164,995	4,428,056	△3,853	4,424,202
セグメント利益	93,534	148,648	128,766	370,949	△115,762	255,187

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,762千円には、セグメント間取引消去△29,264千円、各報告セグメントに配分していない全社費用145,026千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,758,121	856,539	1,111,217	4,725,878	—	4,725,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82	2,309	987	3,379	△3,379	—
計	2,758,204	858,849	1,112,204	4,729,257	△3,379	4,725,878
セグメント利益	108,126	214,940	114,446	437,513	△138,925	298,587

(注) 1. セグメント利益の調整額△138,925千円には、セグメント間取引消去△25,916千円、各報告セグメントに配分していない全社費用164,842千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。